2023　December

Bulletin

2023年11月1日　発行
第28巻　第5号
通巻302　号

今月の聖句　イザヤ書（旧約聖書）2章4節

「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし／
槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。」

＊このイザヤの預言は、ニューヨーク国連本部広場の壁（イザヤ・ウォール）に非戦の願いをこめて刻まれています。
イザヤはさらに、続く5節で「ヤコブの家（イスラエルのこと／選者注）よ、主の光の中を歩もう。」と呼びかけています。

ToBe
The Y's Men's Club
of Kyoto

クラブ会長標語　『「Let's Have Fun」　～想いは家族の為に、行動は自分の為に！～』

国際会長主題
“Let’s Your Light Shine Good Communication Is theempower Cornerstone in every Cooperration”
輝かそう、あなたの光を　良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である

アジア太平洋地域会長
“Be the light for change Shine and empower through fellowship”
変革のための光となろう　親睦を通じて輝き、力を得よう

西日本区理事主題　未来に灯そう（ともそう）希望の光　Let’s illuminate the light of for the future

京都部部長主題　仲間を増やそう　Make more friends

クラブ会長：渡邉　聡
国際会長：Urlik Lauridsen
アジア地域会長：利根川　恵子
西日本区理事：深谷　聡
京都部部長：武村　松一

「地域奉仕・環境事業活動で、輝かしましょう、私たちの未来を！」

西日本区地域・環境事業事業主任 川口 恵

トゥービークラブの皆様、こんにちは。２０２３-２０２４年度西日本区地域奉仕・環境事業主任を務めさせていただきます名古屋クラブ川口恵です。深谷期は、トゥービークラブの山口ワイズに事務局に加わっていただき、ありがとうございます。また、毎月ブリテンをお送りいただきありがとうございます。季節の花と、活動の雰囲気が伝わる写真と記事を楽しみにしています。

事業主題は、「輝かそう、私たちの未来を～Let’s shine our future!」です。地域奉仕・環境事業の実施により、ワイズはもちろん、奉仕される人を含めて、皆が楽しく、輝かしい未来となるように、との意味をこめました。

ワイズメンズクラブといえば、ＹＭＣＡのサポート活動が一番かと思いますが、地域奉仕・環境事業では、地域のニーズに合った活動をすることで、地域の人に喜ばれ、ワイズメンズクラブに認知度を高め、仲間を増やす機会にもなります。

地域奉仕・環境事業は各地域で地域のニーズに応じた活動がされていますが、他の地域の活動の情報共有をし、新たな活動を模索しているクラブに参考していただきたいと思います。

そこで、各クラブの活動を毎月の事業通信で紹介したいと思います。事業を実施されましたら報告書をお願いします。事業実施への思いなども併せて記載していただければ、幸いです。

なお、事業通信には、過年度の西日本区の各クラブで実施されたＣＳ事業の事業別まとめを記載しました。また、過年度のＣＳ資金、ＦＦ資金、ＴＯＦ資金の使途も記載しました。クラブでのＣＳ資金申請の参考に、そして、３月の献金の際の参考にしてください。

さあ、「地域奉仕・環境事業活動で、輝かしましょう、私たちの未来を！」

今年度も地域への素敵な活動を。

そして事業実施報告書、支援金申請をお待ちしています。また、要望がありましたらお寄せください。あと、８か月、よろしくお願いします。

10月第一例会

10月11日（水）19:00～21:00
ANAクラウンプラザホテル京都

１０月の第一例会はＥＭＣゲストスピーカー例会でした。スピーカーはグローバルクラブに所属のキラメキノ未来代表久保田さんです。
今回スピーチしていただいたのは、ご自身のラーメン店がどのように進んできたのかという内容で、「キラメキノトリの軌跡」というテーマでご講演頂きました。
講演はご自身の経歴からお話しが始まりました。ラーメン店をやる前は倉庫業や配送業一本でお仕事をされていたようです。ただ、大手チェーンの発注がほとんどだったので、他の柱も必要だという事でラーメン店を開業されました。開業されてから順風満帆とはいかなかったようですが、今では全２２店舗になり、年間売り上げは２０億にもなるそうです。
その中で、大きな失敗も何度かあるようでしたが、それでも潰れることなくことなく会社を成長させていけることにとても感銘を受けました。
また、後半ではご自身のラーメン店の売り上げをどのように伸ばしていけるかや店長が集まる会議の内容の一部をご紹介下さいました。ひとつ言えるのはとても数字を厳しく見られているんだなという事です。原材料やスープの温度、そして材料費からランニングコストまで細かく数値化して分析をされていました。１０年以上続くラーメン店が全体の３％という事でしたが、その中で残ってこられるのは、こういった細かな分析があるんだなと感心しました。とても良い講演を聞かせてもらい、すごく為になったと感じました。
また、例会には大阪なかのしまクラブ・京都クラブ・グローバルクラブ・ウイングクラブ・ウェルクラブと沢山のゲスト・ビジターの皆様にご参加頂きました。
参加メンバーも多く楽しいひとときになりました。。

京都トゥービー　馬場 昭宏

キラメキノ未来代表 久保田雅彦ワイズ
（京都グローバルクラブ）

中西部部会に参加して

１０月９日大阪ＹＭＣＡにて中西部部会があり、溝口ワイズ・山口ワイズと参加して来ました。見慣れている京都部部会とは異なり、お酒の無い部会でした。
第１部式典はバナーセレモニー、部長挨拶、来賓あいさつ等が行われ、第２部では社会福祉法人　関西いのちの電話、理事・三橋様による「５０年に渉る寄り添いの心」と題されて講演をいただき、命の重たさを痛感したお話しでした。
およそ３４０名のボランティア相談員がおられ、年間相談件数約２３５００件を交替で途切れる事のない心の悩みを受けておられるそうです。
「死にたい」と訴える電話があるそうですが、自分ならどう答えたら良いのかと考えながら聞いていましたところ、自分の考え方を言うのではなく、話しを聞く事で心の中にあるマイナスな事が少し和らぎ、共感的理解が心を落ち着かし、相談者は自殺を見直す事があるようです。
深夜は寂しくなるのか自殺率が高いらしく、話しを聞くかぎり相談員の方は一番緊張する時間のようにおもいました。日中は雑音があり、世話をやく人がいても鬱陶しさもありながら気にしてもらっている有難さを感じるのかもしれません。
僕自身も凄く悩むことがあって相談した相手が、親身になって聞いてくれると自分の見方は近くにいるのだと感じたとこがありました。個人的に何か自分に出来きる事はないのかと考えるようになり、人に必要とされ人の役に立つ事が出来るような自分でありたいと思いました。
そして第３部はミニコンサート！
４名による演奏会で知っている楽曲で会場が盛り上がり楽しい時間を過ごしました。
他の部会に参加する事で自クラブの良さと改めるべきところにふれる機会でした。
ＤＢＣ先の大阪なかのしまクラブの皆さんとの楽しい交流も出来て今期は楽しい事が続きそうだ！

京都トゥービー　渡邉 聡

10月21日ワイズメンズクラブ国際協会西日本区　第28会びわこ部部会

びわこ部部会へ参加してきました。
スペシャルセミナーではＮＧＯ団体『アジア子どもの夢』代表　川渕映子様（とやまクラブ）と国際緊急援助隊　医療調整員　小田哲也様（福岡中央クラブ）のお二人が壇上に上がり講談されていました。
川淵さんは過去にベトナム戦争でのボランティア活動から現在に至るまでの様々な経験を元にボランティアの真髄を、小田さんは国際緊急救助隊での活動内容を語られていました。
大変リアルなお二人の話、支援といってもどのような支援が現地では必要とされているのか、それを知るためにはまずは現場を見ないといけない、金を送るだけではよくないなど様の内容、大変勉強になり考えさせられました。
時間的な事もあり大変凝縮された内容でしたがとても考えさせられ、また素晴らしい経験をさせて頂きました。また懇親会ではお酒も入りいつも通りの大変素晴らしい時間でした。いろいろな席に行っても気軽に話せるワイズメンがどんどん増えています。
これからも積極的にいろいろなところへ参加していきたいと改めて実感いたしました。
今回当初より参加させて頂く予定でしたが、去年大変お世話になった長浜クラブの伊藤文訓様より熱烈なお誘いを受け、もちろんお断りするはずもなく即答で出席させて頂きますと返事させて頂きました。
こんな感じでワイズの輪がどんどん膨らんでいくのがとても楽しみです。
貴重な体験談やセミナー、楽しい懇親会、とてもいい１日でした。
ありがとうございました！！

京都トゥービー　木村 拓馬

１０月第二例会は京都トゥービークラブとの合同例会という事で、ホテルオークラ京都の例会場にゲストを含めて８０名以上が集まっての盛大な例会となりました。両クラブメンバーに加えて中西部の丹吾ＥＭＣ事業主査をはじめ、大阪サウスクラブ、大阪茨木クラブ、大阪センテニアルクラブ、京都ウエストクラブからの多数のワイズメンとパレスの入会候補者の他、少し変わったところでテレビ大阪から取材を兼ねてのご参加もありました。

例会は、両クラブ会長の挨拶に始まり、パレスの入会式（堀尾格君、坪内宏行君）、阪和部新年合同例会のアピール、大阪茨木クラブの３０＋１周年記念例会のアピールの後、食事歓談を経て、メインスピーチは大野嘉宏ワイズのお話でした。

奉仕クラブが生まれた経緯から始まり、ワイズ運動７０年史を紐解きつつ、小堀理論のエッセンス、クラブを発展させるための考え方、そしてワイズメンが自分の人生を豊かにするための心構えをユーモアを交えて説かれるお話は、何度聞いても納得の内容でした。

最後の「ラオスにＹＭＣＡを！」プロジェクトの意義、進捗報告まで含めて大変中身の濃い、濃密な４５分間だったと思います。

その後、両クラブ会長の記念品の交換、ニコニコタイムと進み、定刻に閉会点鐘。

例会後も親睦を深める二次会、新入会員歓迎会へと続く夜になりました。

京都パレスクラブ　山本一博

10 月第二例会　10 月 25 日（水）19:00～21:00　ホテルオークラ京都

京都パレスクラブ・トゥービークラブ合同例会

京都パレスクラブ・トゥービークラブ合同例会報告

『活』と『喝』

１０月第２例会は京都パレスクラブさんとの合同例会。

『心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る』正にパレスクラブさんの真骨頂である。大野嘉宏ワイズの卓話は何度お聞きしてもワイズメンのあるべき姿を再認識させられる。今回のお話も入会して日も浅いメンバーの心に響いた事と思う。

特筆すべきは聴衆を引き付ける話術。笑いのポイントを随所に交え、緊張と緩和の流れを作られている。ワイズメンとしても企業人としても人生の先輩としても敬愛すべき存在である（少し褒めチギリ過ぎ・・・）

ワイズの理想像として良質な親睦の大切さと自己研鑽。ヒトとの関り方での寛容さを学ぶ機会を頂いた意義深い例会であったと思う。

久し振りにパレスメンバーさんとお会いしたが若いメンバーが増え面識のない方も多く感じた。トゥービークラブとのメンバーの絶対数の差。更に当日も２名の新入会者を迎えられ入会候補の参加も有り「活」と「喝」の両方を頂戴した。

卓話の中で『ラオスにＹＭＣＡを！』こちらのプロジェクトも実現に向かって着々と進行している報告も頂いた。夢のような話が形となりつつある。『人生は神が与えた演劇』の一幕とも言える。微力ではございますがそのような一幕にお手伝いできる様努めます。

京都パレスクラブの皆さま、本当に実のある素敵な時を与えて頂き感謝。

有難うございました！！

京都トゥービークラブ　小幡 弘

メンバーのお仕事紹介

京都府議会議員
特別メネット：畑本 久仁枝

平成31(2019)年4月30日より、京都府議会議員として私の第二の人生が始まり、令和5(2023)年4月の統一地方選挙に2期目の当選を果たし、現在議員経験年数としては4年6ケ月になります。
議員経験年数から見るとまだまだ新人の域におりますが、年齢的にはベテラン枠に入り、中々複雑な立ち位置で、日々猛勉強しながら、又、恥をかきながら、第二の人生を生きています。
政治の世界を目指す志を掲げ挑んだのですが、新たな領域でもあり、日々、資料を読み解き勉強するという「まるで受験生」のような生活をしています。
議員としての仕事は、議会や委員会での質疑等の議会活動と府民の皆様からの陳情・要望や相談・苦情の対応です。特に後者の府民の皆様からの声に真摯に耳を傾ける事で、様々な気づきを与えていただけ、本当に重要な「生きた声」でもあります。そして、この「生きた声」に応えられ成果となった時は、議員冥利に尽き、至上の喜びを感じます。
正直申すと年齢的には新たな領域での仕事はきつく、かなりのストレスを感じる時もありますが、この年齢になっても日々研鑽できる喜びの方が大きく、府議会議員としての第二の人生を、天国にいるはずの「まことさん」と共に謳歌していきたいと思います。「まことさ～ん、頑張っているよ！」

国際協力街頭募金に参加して

11月29日（日）に少し肌寒い感じの中で行われた今年の国際協力街頭募金に松崎ワイズと二人で参加してきました。小さな子供たちやリーダーたちに混ざってワイズメンズクラブ京都部の皆さんと各々の場所で募金のお願いをしてまいりましたが、昨年に比べて募金も冷え込んだ感じでした。トゥービークラブは四条河原町で行いましたが、その場所は他の団体の募金活動もされているようで、YMCAは東南角でスタンバイ！
昨年はウクライナ問題などを掲げたせいか、共感を生んで募金もたくさん集まったように感じました。
例え一人の力は小さくても沢山の仲間が集まれば大きな力になり支援に繋がっていければとおもい街頭に立ってお願いをしてきました。

京都トゥービー　渡邉 聡

京都トゥービークラブ・第28期会長

ナベのひとり言

最近の朝夕は肌寒くなってきました。
秋は結婚記念日があるので旅行に行っていたが、私の父親が病気のために家族で宿泊をする旅行に行く事はほぼ無理となった。
子供達は理解をしているようだが欲望を抑えるのに必死で、なんとかして旅行に行ける方法を考えて提案してくる子供にアッパレ！
3年ほど前になるが新しく建てた建物に寝泊まりした事があって、それが楽しかったようだ。
コロナ感染が初めて報告されたこともあり日本中が自粛ムードでもあったので、いつもと違う環境で過ごした一日は子供達には新鮮であったようだ！
お金がかからなくて旅行気分をあじわえ、４人が満足した事を懐かしく思う。

YMCA NEWS

❶「ウインター＆スプリングプログラム　募集（スキー、スイミング、体操）」

みつかる。つながる。よくなっていく。
新たな出会い、お子様の豊かな成長を願ってプログラムを準備いたしました。

公式サイト
https://sites.google.com/kyotoymca.org/2023ymcawinter?usp=sharing
URL または QR コードを読み取ってご覧ください。

お申込み受付期間
11 月 7 日（火）13 時～　専用サイトからの申込みとなります。
※会員優先受付期間：10 月 31 日（火）13 時～ 11 月 7 日（火）12 時
2023 年度京都 YMCA 通年プログラムにご参加の方限定の受付期間です。

お問合せ　京都 YMCA ウエルネスセンター　（Tel）075-255-4709

例会出席	
10 月第 1 例会	18 名
ゲスト	：12 名
10 月第 2 例会	22 名
ゲスト	：1 名

ニコニコ	
10 月第 1 例会	35000 円
10 月第 2 例会	8000 円
累計	68,000 円

クラブオフィス：京都 YMCA
住所 〒604-8083 京都府京都市中京区 三条通柳馬場東入中之町 2
電話 075-231-4388

会　長　渡邉　聡
副会長　松崎　和彦
　　山内　哲
書　記　桶谷　雄一
　　宮田　雄輔
会　計　溝口　誠